

第 1 2 回 議会運営委員会

令和 5 年 8 月 21 日 (月) 5 階 第 1 委員会室	開 会 8 時 5 4 分 閉 会 9 時 4 6 分
-------------------------------------	--------------------------------

午前 8 時 54 分 開会

○委員長（榛葉利広君）

皆さん、おはようございます。

今日の議会運営委員会を始めていきたいと思いますが、ここ 3 日間ほど、熱中症警戒アラートが毎日出てるということで、もうお盆は過ぎたんですけれども、なかなか暑いということで、皆様に関しまして、体調管理には十分注意していただきたいのと、あと、市民の皆さんにもしっかりと情報提供していきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

申し遅れましたが、三輪田委員は本日、体調不良のため欠席ですので、よろしくお願いいたします。

改めて、ただ今から令和 5 年第 12 回議会運営委員会を開会いたします。

ここで、市長より挨拶をお願いいたします。

市長 水野光二君。

○市長（水野光二君）

おはようございます。ただ今、榛葉委員長もお触れになりましたけれども、本当に体調管理と申しますか、今、熱中症もそうですし、あと、コロナもじわじわと感染が拡大しておるということもございまして、職員も何人か感染したり、また、議員さんの中でも感染されたというような状況が続いておりますので、決してまだ収束したわけではない。

今日の全員協議会でもご報告させていただきますけど、国としても、新たなウイルスに対するワクチンの接種を始めるということで、今までクーポン券をお配りしてましたけど、私も実は使ってませんけども、それを破棄して、新たなワクチンのクーポン券をこれからいただけるそうですので、それで改めて予約をして受けるということになるのかなと思います。

コロナにも警戒しながら、そして、熱中症にも警戒しながら、最初からしたら、やっぱり日々の仕事をこなしていかないといけないかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、令和 5 年第 4 回瑞浪市議会定例会に上程させていただきます議案がまとまりましたので、理事（兼）総務部長から説明をさせていただきます。

ただ、また後で詳しくご説明させていただきますけど、開会をした後、私はハンガリーで 9 月 2 日に、県とハンガリーとの連携の式典が開催されまして、知事、そして、多治見市長、土岐市長、私と、そして各県議さんもそれぞれたくさん行かれるそうでございますけど、式典に出席させていただきます。

帰ってまいりますのが 9 月 4 日ということで、今度は議案の質疑、委員会付託の前日になります

が、行きはいいんでしょうけども、帰りの飛行機が遅れることがありましたらまたご迷惑をかけるかもしれませんが、これも大切な、美濃焼を世界に発信する、そして、来年度の国際陶磁器フェスティバルに関する協力要請も兼ねまして行かせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（榛葉利広君）

ありがとうございました。

○委員長（榛葉利広君）

それでは、1、令和5年第4回瑞浪市議会定例会についてを議題といたします。

本定例会の提出議案について、説明を求めます。

初めに、理事（兼）総務部長 正村和英君。

○理事（兼）総務部長（正村和英君）

おはようございます。それでは、私から令和5年第4回市議会定例会に上程いたします議案についての説明をさせていただきます。

お手元の第4回市議会定例会議案予定表をご覧ください。

上程する議案は、条例案件6件、人事案件2件、その他の案件9件、予算案件7件、認定案件7件の合計31件でございます。

人事案件の2件につきましては、後ほど市長から説明させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、私からは、条例案件から順番に説明いたします。

初めに、議第63号 瑞浪市職員の特殊勤務手当支給条例の一部改正ですが、こちらは新型コロナウイルス感染症への対応作業に係る防疫手当について、5類へ移行したことに伴い、特例的に措置されていた防疫手当を特殊勤務手当から削除するものでございます。

次の議第64号 瑞浪市手数料条例の一部改正は、コンビニ等に設置されている多機能端末を利用した証明書の交付について、今後設置していく取れるような形で行っていく予定にしておりますけれども、この多機能端末を利用した証明書の交付につきまして、手数料減免規定の対象から外すための所要の改正となります。

議第65号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定につきましては、市債権に係る督促手数料を廃止するため、算定する条例、案もありますけれども、の整備を行うための所要の改正となります。

次に、議第66号 瑞浪市企業立地の促進及び雇用の拡大に関する条例の一部改正は、運輸業及び卸売業・小売業を営む者が設置する物流施設を奨励措置の対象とするための改正でございます。

次の2ページをお願いします。

議第67号 瑞浪市残土処分場の設置及び管理に関する条例の一部改正は、リニア中央新幹線南垣外工区で発生する健全土を瑞浪市残土処分場で受け入れるための所要の改正となります。

議第68号 瑞浪市火災予防条例の一部改正は、対象となる火災、火気設備等のうち、蓄電設備について、一般的に用いられる蓄電池容量を用いて区分し、位置、構造、管理に関する基準の改正を行うものでございます。

次の人事案件2件は、後ほど市長から説明いたします。

その他の案件について説明いたします。

議第71号 第7次瑞浪市総合計画基本構想を定めることについては、瑞浪市総合計画策定条例及び瑞浪市議会基本条例に基づき、基本構想の策定について議決をお願いするものであります。

次に、議第72号 財産の処分については、瑞浪クリエイション・パーク内の賃貸借区画について、土地購入の申し出があったため、売却に当たり議決を求めるものでございます。

3ページをお願いします。

議第73号から議第79号までの7議案は、市内で行われた1開発区内の道路について、市道の認定を行うものであります。

次に、予算案について説明いたします。

議第80号 瑞浪市一般会計補正予算（第8号）は、歳入歳出予算にそれぞれ2億4,400万円を追加し、クリーンセンターの基幹的設備の緊急改修工事に係る予算を計上するものであります。

本件につきましては、本施設の主要な設備である酸素発生装置の機能低下に対処するための工事を行うものであり、早急に対応する必要があるため、議会初日で採決をお願いいたします。

次に、議第81号 瑞浪市一般会計補正予算（第9号）は、歳入歳出予算にそれぞれ8億840万円を追加し、また、繰越明許費、債務負担行為の追加、変更を行うものです。

補正の内容は、決算剰余金や土地売払収入の基金への積み立て、保育園等の給食費無償化事業、小規模保育所施設整備補助事業、6月の豪雨の災害復旧などの予算を計上いたします。

4ページをお願いいたします。

議第82号 後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算にそれぞれ1,270万円を追加するものです。

議第83号 国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算にそれぞれ1,640万円を追加するものとなります。

議第84号 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算にそれぞれ1億550万円を追加し、債務負担行為1件の変更を行うものです。

議第85号 水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的収入・支出に260万円を追加し、資本的収入に1,220万円を、資本的支出に2,790万円を追加するものです。

議第86号 下水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的収入・支出に1,450万円を追加し、債務負担行為1件を追加するものです。

次の認定案件の認第1号 令和4年度瑞浪市一般会計の認定についてから、認第7号 令和4年度下水道事業会計決算の認定についてまでの7議案については、それぞれの会計の決算がまとまりましたので、監査委員の意見を付して決算の認定をお願いするものです。

以上、第4回市議会定例会に上程いたします、人事議案2件を除く議案の概要の説明といたします。よろしくお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

ご苦労様でした。

次に、市長 水野光二君。

○市長（水野光二君）

それでは、私から人事案件2件についてご説明をさせていただきます。

初めに、議第69号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることにつきまして、説明をさせていただきます。

人権擁護委員の各務和子委員の任期が、令和5年12月31日をもって満了となります。新たに土岐町の磯貝直美さんを人権擁護委員の候補者に推薦したいと思っておりますので、「人権擁護委員法」第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

そして、次に議第70号 瑞浪市教育委員会委員の任命につき同意を求めることにつきましては、教育委員会委員の羽柴誠委員の任期が、令和5年9月30日をもって満了となります。引き続き、羽柴誠さんを教育委員会委員に任命したいと思っておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第4条第2項の規定によりまして、議会の同意をお願いするものでございます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

ご苦労様でした。

ただ今の説明に対して、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、質疑を終結いたします。

次に、提出議案の取り扱いについて、事務局より説明させます。

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

それでは、ただ今、説明を受けました本定例会提出議案31件の取り扱いについてご説明申し上げます。

議案予定表とお手元の会期日程をご覧ください。

ただ今、説明がありました31件につきましては、定例会初日の8月29日に全て上程し、説明がされます。

まず、条例案件の6件につきましては、9月5日の議案質疑の後、所管の常任委員会に付託し、9月7日、8日に行います各常任委員会で審査をいたします。

人事案件2件につきましては、定例会初日に説明を受けた後、質疑を行い、委員会付託を省略し、初日に討論、採決まで行います。

なお、本件につきましては、本日の全員協議会の後、執行部より事前説明を受けますので、よろ

しくお願いいたします。

次に、その他の案件9件ございますが、そのうち、議第71号 第7次瑞浪市総合計画基本構想を定めることについては、初日に総合計画特別委員会に付託し、9月14日に予定をさせていただきます特別委員会で審査をいたします。

議第72号から議第79号の8件は、9月5日の議案質疑を経て、経済建設委員会に付託し、9月8日の経済建設委員会で審査をいたします。

予算案件7件並びに認定案件7件につきましては、定例会初日に予算決算委員会に付託をいたします。その中で、議第80号 補正予算（第8号）は、ただ今、説明がありましたように、初日議決を必要といたしますので、初日に全議案の上程の後、本会議を休憩し、休憩中に予算決算委員会を開催していただきます。

委員会終了後、本会議を再開し、質疑、討論、採決まで、この第80号については初日に行いたいと思います。

その他の予算案件の6件並びに認定案件7件は、9月12日、13日の予算決算委員会にて審査をいたします。

9月14日は、予算決算委員会の審査が12日、13日で終わらなかった場合、予算決算委員会を先に行いまして、それが終わったら、総合計画特別委員会を開催するという流れにしたいと思います。

なお、9月11日の予算決算委員会は、これは事業評価でございます。

最後に、定例会最終日となります9月27日は、委員長報告、質疑、討論、採決を行い、閉会という流れといたします。

以上のとおり、今定例会の提出議案の取り扱い（案）とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

ただ今の説明に対して、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段ないようですので、質疑を終わります。

ただ今、ご審議いただきました件につきましては、本日、この後に開催されます市議会全員協議会で説明し、了解を得て、本定例会の会期日程としますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

ここで、執行部の皆様は退席を願います。

ご苦労様でした。

〔執行部 退席〕

○委員長（榛葉利広君）

それでは、次に2、タブレットの更新についてを議題といたします。

本件につきましては、8月10日金曜日に第13回議会改革特別委員会において審議された内容について、まず、渡邊議会改革委員長から報告を受けたいと思います。

議会改革特別委員長 渡邊康弘君。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

議会改革特別委員会におきまして、令和6年度の予算で更新を予定しております貸与タブレットについての審議をさせていただいております。

それに前もって、各議員の皆様はタブレットの利用状況の確認も含めたアンケートというところで押さえさせていただいて、そのときは、現状、更新する必要がある、ないという意見で半々に分かれております。

今後、タブレットの更新の必要性というところで、しっかりと審議をしていかないといけないかなというところで、実際なぜこれを審議させていただいたかというところ、平成30年にこちらのタブレットの貸与というところで、皆さんの元に貸与タブレットになりました。

その当時がペーパーレスとタブレットの活用による議員の質の向上というところで始まったんですが、現状、カレンダーやDropboxの使用というところまでとどまっております。

より一層活用するために、改めて審議をして、それで新しいタブレットが必要なのか、今現状の状況で必要ないのかと。税金を使ってタブレットを導入するものになりますので、皆さんしっかりと改めて審議していただきたいというところで、議会改革特別委員会の議題として取り上げさせていただきましたので、お願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

2番 熊谷隆男君。

○2番（熊谷隆男君）

最初にタブレットが必要かどうかのアンケートを配っておって、それで議会改革特別委員会で開かれて、今の話を聞いたと。

委員長が、今年、更新の年やよということという。これ、順序が逆やないの。まずは、こういうふうでタブレットの更新の時期が来るとの説明があって、みんなにアンケート取ってというのは分かるけど、その経緯というものが見えんうちに唐突に来ると、何のための、議会改革を進め、タブレットの利用を高めるためのアンケートかしらんとか、いろいろ思ったわけよ。

これって、進め方でいくと、最初に更新するかどうかということに委員長が疑問を持って、どうやろということのための議題で議会改革特別委員会に上げたと。

議会改革特別委員会に上げる前にアンケートを取ること自体が、議題が上がったのでアンケートを取ることだけで、今の更新の時期が来るとということ、早く予算要求をしなきゃいかんということもせば詰まった感が出てきたわけやけども、その辺のことについてちょっと聞きたいと思って。

○委員長（榛葉利広君）

議会改革特別委員長 渡邊康弘君。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

アンケート実施する前に、ちゃんと議会改革特別委員会で報告させていただいて、諮った上でアンケートをやっております。

○2番（熊谷隆男君）

そのときに今のような説明なんて聞いてない。更新で予算要求をね、何月の何日までにせんなんかとか、いつまでに出さんとあれやなんていうせっぱ詰まった感がないもので、これから審議するような話かしらんというふうに思ってたわけやけど、聞けば、もうある程度、早く出さないかんわけやら。その答え自体を。

そんなにせっぱ詰まったらんなら、審議長引かしてもいいんやけど、その辺の日程をちょっと教えてほしいんだけど。

○委員長（榛葉利広君）

議会改革特別委員長 渡邊康弘君。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

既に皆さん実施計画のほうで知っていただいているものとして話を進めていた部分がありましたので、そこら辺は説明不足で申し訳ありません。

9月の予算要求に合わせてやりたいと思っておりますので、8月中にはある程度意見をまとめて。

○委員長（榛葉利広君）

10月ぐらいに結論が出れば。1月ぐらいまで、最悪いいという話もあったけど。

議会事務局長 梅村修司君。

○議会事務局長（梅村修司君）

予算のスケジュールで言いますと、最初に執行部のほうで予算を取りまとめるのが、多分10月の末ぐらいなんですけど、最終的には、市長ヒアリングまで延びると思うので、1月末というのもあるんですが、まずは10月末をめどに意見がまとまれば、予算要求をしていくと。

既にテーブルには上がっているの、あえてこれをそのまま載せておくのか、削除するのかという議論ですので、正直そんなにせっぱ詰まっではないというようなイメージなんですけど、まずは10月末をめどに結論を出していただければというスケジュールでお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

5番 成瀬徳夫君。

○5番（成瀬徳夫君）

今の議会改革特別委員会の意見では、更新と現状そのままの状況で半々の意見だという話なんだけど、その辺の意見の整合性という、どうしてみえるのかなということが知りたいんだけど、予算要求するのは構わんと思うんだけど、そのほうがいいよという人もおるんだったらさ、その辺はみんなでどういうふうに考えていくかということは、議会改革特別委員会できちっと話されたのかなと思って。

意見を聞いただけなのかなっていうふうに思う。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

まずもって議員の全ての方にアンケートをとった結果が半々という結果になりました。その結果をまとめて、元に議会改革特別委員会で皆さんの意見をさせていただいて、今、それでは結論が出ないというところで、議会運営委員会に今こういったもの、相談を上げてるといふ。

○委員長（榛葉利広君）

5番 成瀬徳夫君。

○5番（成瀬徳夫君）

議会改革特別委員会で結論出さずにこっちへ話を振ったということ。

○委員長（榛葉利広君）

議会改革特別委員長 渡邊康弘君。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

議会改革特別委員会の意見の中では、もうやはり割れておりますので、最終的に議会運営のほうに関わってくることになりますので、ご相談をあげたということになります。

○委員長（榛葉利広君）

2番 熊谷隆男君。

○2番（熊谷隆男君）

議会改革特別委員会で割れたという、アンケートは全議員に取っとるもんで、これで議会改革特別委員会の中で、半々かどうか分からんのやけど、全体でアンケートを取って、議会改革特別委員会で決めるっていう。

最初にアンケートを取る時点から言えば、議長なり、議会運営委員会なり何なりに、こういうふうな事由でアンケートを取りますよと。これは議会改革特別委員会で審議するために、考えるためのアンケートですよということにしておかないと、数が出たのがどうかとって、その議会改革特別委員会の中で意見が分かれておりますけどということでもいいのかということになるわけやね。

全体のやつのアンケートを取らずに議会改革特別委員会でやって、あえてみんなで取りますよというのは分かるけども、みんなで取って、それで議会改革特別委員会も開いて、それで議会改革特別委員会の中では割れているので、もう一遍、議会運営委員会へ戻すというイメージよりは、何となく流れがスムーズでない感があるんだけど。

○委員長（榛葉利広君）

ほかの皆さん。

○委員長（榛葉利広君）

5番 成瀬徳夫君。

○5番（成瀬徳夫君）

それは、議会運営委員会のほうに戻すことはおかしいだろうけども、議会改革特別委員会のほうで一応やってほしいということで上がってきたと思うんですけど、それで、委員長どう思われます。

○委員長（榛葉利広君）

要するに私の感覚ですけど、アンケートの結果で半々に分かれてしまったので、結局、議会改革特別委員会の中でも決められんということじゃないかなと思うんですけど、ただ、議会改革特別委員会の中の議論がどういうふうになされたのか、そこがちょっと見えないところがあって、そこをもう少し、何か議論をしたんならお聞きしたいなと思いますけどね。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

説明不足で申し訳ありません。議会改革特別委員会の議論の中では、金額面の部分の話であったりとか、ペーパーレスの部分の、今の現状の話であったりとか、そういった中で、本当にタブレットが必要なのか、いや、むしろこれから進めていく中で必要じゃない、必要だろうという意見も含めてありまして、5年間という貸与期間であれば、日割りすると金額面では全然高いものではないんじゃないかという指摘もあったり、逆に今、現状の使用用途であれば、議員が持っているような個人のパソコンで、個人の端末で十分、GmailやDropboxが活用できるので、もう必要ないんじゃないかという意見も出ておりました。

中では、課題のペーパーレス化とかICTの活用がどんどん進むのであれば、積極的に予算をつければいいのかという意見もありましたので、肯定的な意見、また、実際導入するので、導入して活用するのであればいいんじゃないかというような意見のほうが強いという感じになってます。

現状のように活用してない状況が続くのであれば、市費を使って予算を取るの、ちょっと考えたほうがいいのではないかと。ただしっかりと活用していく。ペーパーレスを進めるとか、ICTも活用して、有事の際にオンライン委員会が開けるとか、そういうふうに進めていけるのであれば、それが必要ではないかという形で意見が出ております。

○委員長（榛葉利広君）

副議長 柴田幸一郎君。

○副議長（柴田幸一郎君）

このタブレットが必要か、必要でないかは、この議会改革特別委員会のほうで結論を出すだけではなくて、もう皆さんがなきゃ困る人もおるし、なくてもいいという人もおるわけで、特別委員会のほうが皆さんを招集して、何か話し合いをしななければならないと思うんですよ。

そこから決めるふうな方向性にしてったらどうやろかと、僕は提案させていただきたいなと思ってます。

○委員長（榛葉利広君）

それは、全員に。

○副議長（柴田幸一郎君）

はい。

○5番（成瀬徳夫君）

タブレットは、もうみんなでタブレットを使おうと決めたことなんだから、これを今から元に戻してさ、それは必要かどうかということは議論する必要はないと思うんですよ。

だから私は、その今タブレットは更新の時期に来てるよという、大体5年なんだけども、更新の

時期が来てるんだけど、皆さん議員としてはどう思ってますかという意見だと私自身思ってます。

だからこれに対して予算を取らないかんで、皆さん意見をまとめてくださいという意見だと私は思うんだけど。だけどこれ、私自身は、自分自身の意見なんですけども、実際にタブレットも行政のほうも使ってくれてる。だからそれに沿った形のタブレットであれば私はすぐ更新したほうがいいと思う。古い今使ってるタブレットをまた違う、行政と違うものを使っていくんだったら、もうちょっと考える必要があるんじゃないかなと私自身は思うんだけども。

予算取るのは取っても私いいと思うんですよ。予算取っていただいて、それ取る前までにいろいろ研究すればいいかなと思いますので、その辺で委員長どうですかね。

○委員長（榛葉利広君）

2番 熊谷隆男君。

○2番（熊谷隆男君）

これは、例えば、議会改革特別委員会が廃止にしますよと言って予算が変わることで決められるわけでしょ。そんなこと言えば、特別委員会で決まったことで予算編成までが議決しちゃうなんて、一部の人で決めるなんてことできんわけで、これができんから、要は提案として、これについて審議してもらいたいということを議会運営委員会に言いよるわけやから、それを言わずに決めないようなことを言うのでおかしくなることで、もう議会改革特別委員会では決めかねるわけやから、重た過ぎて。

そやから、これは議会運営委員会に戻して、議長中心の協議会にするのか、会派へ戻して一回検討させるのか、そういうことをしないと、みんなの意見が、この議会運営委員会だけでも決められんもんで、やっぱりそういう議事を進めてく順序というものをもうちょっと考えてもらわんと、唐突に言われてすぐどうやって言われたって困る話で、まだいろいろこれ、何度も声出すと思うけど、要は、タブレットを仮にずっとやって、十何年ずっと続ける人はどんどん進化していくんやけど、4年ごとで任期だって変わったら、新しい人が入ったらその人はゼロから始まるもんで、使い方が。

で、進まない進まないと言ったって、その人たちには負荷がかかるわけね。これ5人ぐらい変わったときには、全くゼロから使い方を考えなきゃ。これもどんな人が入ってくるか分からない。そうすると、何年使ったでみんな使えるようになるよといったって、メンバーが変わってきてるので、それを、それは導入するときから言った話で、それで、当時辞めてく人があったわけね。あと何年残って、どうせ使えへんから、使えへんわと言って、全然使わずにやめちゃった経緯があるわけやけども。

そういうことで言うと、どんどん進化していくなんてことは難しい話で、みんなが足踏みそろえて、やっぱり長く務めてる人は使い勝手もどんどん進化してるけども、新しく入った人に対してはもうちょっと優しくしないと、いつまでたっても同じことを繰り返すというふうに僕は思うわけよ。

やっぱり進め方としては、何らかのところで議会改革特別委員会は議会運営委員会に持ち出したことによっては、議会運営委員会のほうで、予算編成に関わることであるので、やっぱりどう言うか、全員の意見を聞くのもまとめてもらわんと、指揮取れない。

なんで意味がないのにまとめて議会改革特別委員会をやるんやと、ここがおかしい話やもんで、やっぱどういふうかは、これからの進め方は、議会運営委員会のほうで。その議会運営委員会は大体、議事の進め方の元を考えるようなところの組織でもあるのでと思う。

今の皆さんの意見を聞いて、やっぱりそれぞれ意見が違うのでちょっと聞いてみると。

○委員長（榛葉利広君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

確かに熊谷委員の言うとおりでと思うし、今、議会の中に、タブレット以外にパソコンを持ち込んで、許可を取って、パソコン使ってる人は随分増えていったよね。

当時はそこに持ち込んだじゃいかんとか、いろんな制約の中でやとったわけやけど、僕も実際に勝手からいったら、やっぱりあのタブレット自体は資料の保存には一番いいもんで、そういった部分で活用はいいけども、それなら自分のパソコンにも保存できるもんで、むしろ使い勝手の良いほうをやったほうがいいかなという形で、僕はアンケートは出させてもらったんやけど。

最終的には予算という形になると、その中にやっぱりパソコン買わなんん人もあったり、タブレットならそれでいいということもあるんやけど、やっぱりこれから進んでいくには、新しい人が今度入っていったにしろ、新しい人は自分のパソコン使っとるなら、そのパソコンの使い勝手がいいほうのほうがこれから進めるにはいいのかなという気もしとる。

ただそのアンケートを取られた部分は、アンケートはやっぱり皆さんのところに一遍まとめたもの、こういうような状況でアンケートを取らせてもらったけど、こういう状況ですけどどうですかという部分をみんなでもう一回考えなんとするなら、やっぱり今言われただけじゃなくて、アンケートの状況というのは公表したほうがいいかなと僕は思う。

○委員長（榛葉利広君）

一応、皆さんしゃべっていただいたんで、今のご意見をお聞きすると、一つの方法としては、会派に持ち帰ってもらってっていう方法もあるんですけど、今、全員で一度協議会のようなものを開いてというような声もありましたけれども、それを1回やってみるといのも手かなと思うんですけど、その辺については、これは私からの提案ですけど、いかがでしょうか。

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

全員でアンケートをやったら、半々やったという、本当に半々やったのかよう分からんけど、半々やったということやもんで、全員協議会とかそういう開いた中でもなかなか難しいんやない。

意見を出し合うのは良いかもしれんけど、最終的にはどこかで集約せなん部分というのは出てくるかなと思いますけども。

○委員長（榛葉利広君）

2番 熊谷隆男君。

○2番（熊谷隆男君）

議会運営委員会を開いて、会派へ持ち帰れば、議会運営委員会の何があったかを報告するということになってくわけやけども、そうすると今の話をせんなんわけで、それで日にちがどうということであれば、会派へ持ち帰りで、検討というか話の経緯は、この今の議会運営委員会の話の経緯を話さんなん、どっちにしようが、会派での報告で。

そうすると、ある程度の検討をしなきゃならなくなると僕は思うわけよね。あと決定するところにおいては、議会運営委員会に持ち帰ってするのか、議長招集の協議会を開くのか、もう議会が始まるのでみんなを寄せることはそんなに難しい。答えを出すのは、あの初日でも議案質疑のときでもできると思うので、1回はそういうことの協議をしないかと僕、会派へ帰って考えなんだろうと思うわけですよ。

何もこういうことで説明だけで済まんで。

で、今の柴田委員の話じゃないけど、これって使う人によって全然違うけど、これが使っとる人もいる。もう、説得できるかという話じゃないわけですよ。使えない人はもう使えないよという話でもないし、使ってる人にはこのまま自分のパソコンでやってねという話もないわけですよ。これもみんな個人個人の尺度が違うので、新しい人もあれば、年齢差もあるし。

もうある程度の意見を、少しずつしながら、もうこれで同意を求めて意見集約ということやなくて、恐らく多数決のようなことになるんじゃないかなと僕は思うわけですよ。

それは、そんなに難しいことじゃないけど、今の説明をもうちょっとみんなに、やっぱり会派でもしてもらおうと、しっかり。最初の経緯は何だと、誰が言い出したんやと、僕ですと。僕が思いついたので、実施計画見とったら思いついたので、事務局にお願いをしたんですと。だから、議会改革特別委員会で行きましょうということになったんですと。議会改革特別委員会のメールで開く前に皆さんにアンケートを取りましたと。そしたらこういうふうになりましたという流れの経緯を知らんと、どこから出てきた話やどうか分からんもんで。

これによって何が決まるか。資料を用意してくれると思うけども、例えば、幾らの予算がついて、財源のことを言うわけやから、予算がついて、これを5年間で更新すると。16人おると。そうすると、月々幾らだと、1日幾らだという日割り計算まで出ると。

これによって、これはこうだ。これはもったいないと。でもこのもったいないというのは、導入のときも出たけども、もったいないということはなかったという。なぜかという、ほかのところの、他市が大きな金を使っったので、それよりはいいのではないかという議論やったと思いついて、そういうことだと思いますけども。

その辺のところも、どちらに偏ることなく、自分が言い出したことやからやめる方向の意見やなと思うんやけど、公平な立場で説明をするということが大事じゃないかなと。それで進めると。

榛葉委員長と犬塚議員さんだけになっちゃうんでね、そこでもそれで相談をしていただくようなことになってくるというふう思う。

○委員長（榛葉利広君）

分かりました。

今課題になつるのが4つぐらいあると思うんですよね。要するにタブレット端末の方針をどうするか。Googleカレンダーの仕様ですね。これをなくしてもいいのかどうか。それから、Dropboxをどうするかということが今課題になってます。

それで、議会改革特別委員長はまず端末の更新は不要じゃないかと。委員長の意見としてはそうなんです。それ以外にも、Dropboxを続けるのかどうか、それから、Googleカレンダーを続けるのかどうか、これもあると思うんですよ。僕らはDropBoxがなくなるのは非常に困るなと思ってるので、これをどうするのか。

この3つ課題があると思うので、それをしっかり議論していただきたいとは思っています。

○委員長（榛葉利広君）

2番 熊谷隆男君。

○2番（熊谷隆男君）

委員長が言うように、要は情報の公平性の共有ということでいうと、例えば、Dropboxに落とすべきものを、今度、紙から、紙でなくなって、余り出なくなったら紙で、パソコンがない人には紙なのかどうなるか分からんよ。パソコンのある人は、どこでも同じように情報を共有することができるか。

もっと情報が多くてということはありません、もちろん、カレンダーについても同様で、やっぱり全て何らかの方法によっても同じ情報が得られることがなし得るかということになってくると、この端末を入れる、廃止する、更新しないということについて、なくなった場合には、今言われたDropboxやカレンダーについてはこうするという、その補足する案が出ないと、答えが出にくいということがあるなということを感じる。

何でもいいのでやめちゃえばいいわと、今度、予定やなんかどうするんや、紙ベースでみんなやるのかと。パソコンを持つ人はパソコンへ送ってくれるのかと。

そうすると、パソコンを見るという作業で言えば、それでいいのか。タブレットは見ることを義務づけるところで貸与になつるわけやから、それを見ないほうが悪いってことになる。

それでも紙ベースやったら、毎日顔出さなんだら分からんよという世界を作るのかということ。もし取りに来なかったら、事務局は連絡してくれるのかと。そういうようなところまで情報がかくどの議員にも同じように伝わる。それをも考えないかんよということやな。

○委員長（榛葉利広君）

ということですので、それをもう少し分かりやすいような形で、文章か何かでそういう資料を作っていたかのようなことは可能ですか。

そのほうが審議しやすいと思うけど。

今だと、なんか中途半端で分からないです。ちょっとそれだけお願いしたいと思うけど。

議会改革特別委員長 渡邊康弘君。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

もう少し時間をいただくかと思いますが、できる限り迅速に出させていただきます。

でお願いいたします。

○委員長（榛葉利広君）

その上で、一度会派に持ち帰り。

○2番（熊谷隆男君）

今日、会派会議あるので、今日の報告を話し合った答えなり、今のところまでは話さないかんと
いうことと、先ほど言ったみたいに、もうそういう情報を、この人がきっちりみんなに伝えて、こ
ういうことも想定できる、こういうこともと漏れなくやって、それで議会事務局もこれはこういう
ふうでフォローできますよと。

そんなことできませんよ。これは議会改革特別委員会でやってくださいよと言って、カレンダー
も送ってくださいよと言えば、これもやりますというのか。そういうことを大体のを作ってやった
けども、答えは最後は多数決一発よということですよ。

説得して、僕は付き合うという話じゃないのね。これ使っとるか、使っとらんかや。使いたいか、
使いたくないかなので。

なので、まず情報だけをきっちり共有してもらおうと、説明をしっかりとってもらおうと。今日先ほど
ぐらいもうちょっと分かりやすい説明を会派ではしてもらいたいということであろうと。

その先の進め方については、議会の初日ぐらいのところでは答え出すぐらいの勢いでやってもら
わないと、話を進めてやるというのが、答え出すかどうかでやってもらうというのを、議会運営委
員会はその中に入れていってもらわないかんやないかなと思う。

議会運営委員会で諮るのか、議長招集の協議会でやれば一発だし、その辺は議長判断ということ
やと思います。

○委員長（榛葉利広君）

4番 柴田増三君。

○4番（柴田増三君）

今のタブレット更新についても、その3つだけを言われたんやけど、ただそういうことだけじゃ
なくて、今のタブレットはこの間の議会運営委員会で視察に行ったわけやけど、オンライン会議と
か緊急なときに、それとタブレットそのものでは、あそこの議会の中ではやれる仕組みのやつがあ
ったんやけど、現に瑞浪のタブレットでは恐らくオンライン会議なんてできんやろ。

○委員長（榛葉利広君）

できんことはない。

○4番（柴田増三君）

ただ、それらの仕組み等を入れてないやら。

○委員長（榛葉利広君）

今は入ってないです。今は入ってないですけど、そういう資料を見ながらオンライン会議をやろ
うと思うと、もう1台端末が要るということがあります。

○2番（熊谷隆男君）

オンライン会議というのは、コロナ禍にあって、みんなで集合してできないことのところから出てきた会議であるので、使える可能性は作っておいても、それを主体として必要ということにはつながらんかなと思うわけです。

災害時でということであれば、ポケットWi-Fiを持たせてくれればありがたいなんていう、そのことも別に貸与してくれればいい。

○委員長（榛葉利広君）

それでは、委員会としましては、一度、各会派に持ち帰っていただいて、基本的には全会一致という形で決めないかんですけれど、更新する場合、更新しない場合、そこら辺説明はいいですね。今、資料作っていただければいいですね。

そういう形でやりたいと思いますので、もう説明も質疑もよろしいですね。しっかりしていただいたので。

9月5日が議案質疑ですね。次回はこの日でいかがですかね。

○2番（熊谷隆男君）

会派へ持ち帰って考えるわけやけど、今度5日の議会運営委員会でまとまれば、議員協議会を入れてくれても。別にあれは議事日程に入れるに関わらずに入れられるからね。

例えば、一人だけ、犬塚議員はどういうふうに思ってみえるか榛葉委員長には聞けるけども、やっぱりどういうことかというのをないがしろにできんので、議会運営委員会で一回やって、その後議長が言われれば議員協議会をその続きでやってもいいわけですよ。

○委員長（榛葉利広君）

それでは、各会派に持ち帰っていただいて、一度しっかり協議をしていただきたいと思います。その後、9月5日の議会運営委員会で会派からの意見を伺うということにしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、資料のほうよろしく申し上げます。

○議会改革特別委員長（渡邊康弘君）

分かりました。

○委員長（榛葉利広君）

ということで、次に3、その他を議題といたしますが、何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（榛葉利広君）

それでは、別段発言もないようですので、これをもちまして、令和5年第12回議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦労様でした。

午前9時46分 閉会